

第2回 松ヶ岡建造物整備委員会（議事録）

日時：平成27年11月8日（土）

10：30～12：00 まで

会場：松ヶ岡（旧山崎家住宅）

1 開会

2 挨拶

・委員長

建造物整備委員会ということで、専門的な知識、知見のもとで考え方を整理する会であり、本日で2回目である。1回目から期間が空いたことはお詫び申上げる。

京都伝統建築技術協会による、修理計画、見積といったものが出ている。その聴取と、それに基づくこれからの取り組み等を御審議いただきたい。

・教育次長

3 議事…進行：委員長

(1)経過説明、(2)松ヶ岡建造物修復（案）の概要について

○議事(1)、(2)について一括審議。…資料No.①、②に基づき事務局が説明。

- ・建物を修理していく上の基本的な方針は、一番先に来るもの。修理し、工法が無くなると建物の価値が無くなる。建物は復旧か、復元か。いつの時代を想定するのかということは修理計画の一番初めに記す。
- ・松ヶ岡の姿は改造を積み重ねた結果であり、一つの時期で指定の価値付け、理由付けができない。主屋は江戸時代、そこに明治、大正、昭和と積み重なっている。その上で、一体としての価値付けをし、指定されていく必要があるが、線引きは必要である。
- ・庭園の整備は大きな仕事になる。そちらもある程度見据え、着手した方が良い。
- ・復旧か復元かは工事が始まらないと判らないこともあり、難しいが、今の段階で考えておく必要もある。
- ・気構えとその方針というのは、調査報告書の文章で十分だが、項目を市民に判りやすくする。

(3)松ヶ岡建造物活用（案）について、(4)修復対象建物について

○議論が、(3)、(4)の内容に及んだため、資料説明を挟んだ。

…資料No.③、④について事務局が説明。

- ・今のところ建造物の重要文化財指定が話題に出ているが、名勝指定ということも考え得るので、外の塀や庭園もしっかり検討した上で、整備した方が良い。
- ・アピールは大事。ボランティアの掃除に参加しているが、変化が無いと、継続していくのはつらい。塀が変われば、進んで行くのがわかる。ボランティアの中でも様々な活用法を考え盛り上がっているが、方針と合わず駄目となった場合、落胆度も大きい。いつの時代に戻すかというのも決め、事務局とボランティアが、一緒に盛り上がるようにしたい。
- ・市民が感動しなければ何にもならない。皆さんがここに足を運び、感動する場所にする。
- ・松ヶ岡の修理の方向性、どうやって守っていくのか等、ここでの検討を市民に知らせ、理解

してもらいべきである。市の考えはこうだと出すべき。今の段階で、全然出てきていない。だから、寄付金と言っても、何ですかとなる。無理やり宣伝する必要は無いが、まだ何か足りない。

- 事務局で、今日の委員会で提示された問題、議論を踏まえ、もう少し踏み込んだ案をいくつか出し、それを元に検討、議論するようにする。

4 閉会